

公益財団法人豊田市文化振興財団
令和6年度第1回文化振興委員会

令和6年5月21日（火）午後2時
豊田市民文化会館 会議室 A

（ 次 第 ）

- 1 あいさつ
- 2 前回の委員会
 - (1) 議事録の確認
 - ・令和5年度 第3回文化振興委員会 議事録
- 3 報告事項
 - (1) 委員会議事録の公開について
 - ・令和6年度以降の議事録を財団の情報公開規則及び要綱に準じホームページ上にて公開する。
 - ・性質上、市民等に不利益となる情報や業務の適正な遂行に支障をきたす内容は、公開しない内容も有り得るものとする。
 - ・委員等の個人名は公開しない。
 - (2) 令和5年度後期モニタリング報告について
 - ・おいでんアート体験フェア（2/25実施）報告：小出委員
 - (3) 令和5年度事業報告について
 - ・市民文化会館事業総括
 - ・文化事業課事業総括
 - (4) 令和6年度事業計画について
 - ・市民文化会館事業計画
 - ・文化事業課事業計画
- 4 協議事項
 - (1) 令和6年度事業モニタリング事業の選定について
 - 事 業 3～5事業の評価、評価書の提出
 - 期 間 6月～3月
 - 候 補 6年度事業計画資料内の事業（網掛け）
 - 担 当 事務局名簿に記載

5 その他

(1) 次回の委員会

日 時 令和6年9月 日 () 時
場 所 豊田市民文化会館 (予定)

【文化振興委員】 任期/令和5年度～令和6年度 (五十音順)

氏 名	区分	所属等
葵 真弓	市民代表	ラジオパーソナリティー、司会者
相田 祐里	豊田市代表	豊田市生涯活躍部 市民活躍室 文化振興課長
小出 充訓	学識経験者	愛知県芸術劇場 企画制作部 企画制作グループ シニアマネージャー
原 小百合	市民代表	豊田音楽家協会会長
原田 眞二	市民代表	豊田写真協会会長 (一社)日本現代写真家協会会長
半田 将仁	学識経験者	(公財) 可児市文化芸術振興財団事業制作課主査

【オブザーバー】

氏 名	役 職
豊田 彬子	(公財) 豊田市文化振興財団 理事長
藤本 聡	(公財) 豊田市文化振興財団 専務理事

【事務局】

氏 名	役 職	委員担当 (主にモニター事業)
岡本 晴貴	文化部 部長	原田委員
原田 秀樹	文化事業課 課長	相田委員、原委員
柴田 崇博	文化事業課 副主幹	半田委員
鈴木 光行	市民文化会館 所長	小出委員
梅村 陽子	市民文化会館 副所長	葵委員

令和5年度 文化事業課 事業報告

【事業ラインナップ】

R6.4.1

No.	事業区分	事業名	重点施策	内容	期日	会場	人数(単位:人)		予算(単位:千円)		コメント	
							目標	結果	予算	決算		
1	共催	市民アート展	普及・啓発	文化団体による作品展示を奨励し、文化会館展示室新設のオープンに併せた作品展を開催する(市民文化会館と連携)。	前期4月6日～9日 後期4月13日～16日	文化会館多目的ルーム・展示室	出展	60	269	375	285	会場を文化会館に移し、初めての開催。新たにステージパフォーマンスを実施し、リニューアル施設のPRにつなげた。
2	共催	小倉百人一首全日本選手権大会・かるフェス	普及・啓発	名人戦・選抜大会と並ぶ全国三大競技かるた大会を、全日本かるた協会と共催で開催する。また、5年度からは、市との共催事業とする。	4月23日(日)	名鉄トヨタホテル 参会館	参加	200	520	1,000	999	大会だけでなく「かるフェス」を開催したことで、競技かるたを知り、親しむ機会を提供した。
3	共催	とよた将棋フェスタ	普及・啓発	子どもによる将棋対局や指導将棋など親子ふれあいの機会提供と将棋の普及を図る機会を提供する。	6月24日(土)	文化会館	参加	128	117	1,296	1,174	コロナ前の大会内容に戻し、将棋人気を象徴するような申込数であった。
4	自主	県文連美術展	普及・啓発	県内の文化協会と合同で美術展を開催し、市内における新人の発掘と愛好者の活動の活性化を図る(文化団体出品協力事業)。	10月24日(火) ～29日(日)	名古屋市	/	/	/	36	6	県文連主体事業への参加。参加者数の減少に伴い、携わり方を見直した。
5	共催	秋季市民茶会	普及・啓発	お点前のレクチャーを行うなど市民が気軽に茶の湯に親しむ茶会を開催する。	11月12日(日)	美術館	来場	300	356	653	550	初めての方でも参加しやすくするため、レクチャーを実施したが、今年度も好評だった。外国人の参加も見受けられた。
6	自主	歳末チャリティー作品展	普及・啓発	文化団体から提供されたアート作品を廉価で販売し、その収益を福祉関係へ寄附する(市民文化会館と連携)。	12月15日(金) ～17日(日)	文化会館展示室	来場	800	571	1,246	728	販売品の減少と共に来館者が少なくなる。
7	共催	県文連芸能大会	普及・啓発	西三河地区の文化協会と合同で舞台芸能祭を開催し、市内の愛好者の親睦と活動の活性化を図る。	2月25日(日)	文化会館大ホール	来場	1,200	1,500	2,423	2,225	輪番での開催。集客において、おいでんアート体験フェアとの同時開催による相乗効果を期待。
8	自主	(新規) 豊田クラフト公募展(隔年開催)	普及・啓発	工芸作家と愛好家が一堂に会して作品発表を行い、活動の活性化と交流連携を図る(支援事業)。	10月6日(金) ～8日(日)	文化会館展示室	出展	120	80	0	0	市民団体主体の支援事業。会員だけでなく会員外の出展者を増やす工夫が必要。
9	自主	市民音楽祭	普及・啓発 人材育成	市民による参加型のジャンルを問わない音楽祭を開催する(支援事業)。	12月2日(土) ～3日(日)	文化会館小ホール	出演	100	99	50	50	市民団体主体の事業支援。運営内容を見直すため、一旦終了。
10	自主	とよた演劇祭	普及・啓発 人材育成	演劇アカデミー及び演劇ファクトリー修了生を中心に市民が運営する演劇祭を開催する(支援事業)。	12月23日(土) ～24日(日)	崇化館交流館	来場	200	105	200	200	8回目の開催。演劇事業の受け皿として、実践の場を支援する。
11	共催	おいでんアート体験フェア	普及・啓発 人材育成	文化芸術を気軽に体験することで、子どもたちの育成と文化の担い手づくり、生涯活躍できる新たな文化活動のきっかけ作り事業。	2月25日(日)	文化会館全館	来場	2,000	3,000	3,497	3,635	事業内容も体験方法も定着しつつある。部活動の地域移行についても、文化団体の紹介の場となる。
12	共催	とよた市民アートプロジェクト	普及・啓発 人材育成 地域創生	アートイベントを市民主導で作り上げることをきっかけにして、市民が積極的かつ継続的に文化芸術活動に関わることで、文化を創造し楽しむ風土を作るとともに、文化芸術を通じてまちづくりに参加する仕組みづくりと企画する側の人材育成を図る。	通年	メインイベント: 豊田市中心市街地	出展	50組	44組	5,654	4,982	市民主導と財団主導の2路線で実施。文化を楽しむ風土醸成や人材育成は直機的な視点が必要。
13	自主	豊田市文化振興財団大会	人材育成 創造	財団の基本方針を内外に示すとともに、文化振興や青少年健全育成、地域振興に業績を挙げた功労者を表彰する。	6月4日(日)	文化会館大ホール	来場	400	598	2,324	1,826	被表彰者への尊敬や感謝、ねぎらいを伝え、今後の活動の励みにつなげる。
14	共催	舞台芸術人材育成活用・創造事業 とよた演劇ファクトリー	人材育成	「演出コース」・「役者コース」など演劇人の養成及び演出、人材を育成する講座と公演を開催する(市民文化会館と連携)。	5月～2月	文化会館小ホール他	参加	演出5 聴講 役者20	3 3 16	5,033	4,794	参加者同士で創造し、作り上げることができ的事业。座学から公演実施まで、幅広く学べる人材育成事業。
15	共催	とよたデカスプロジェクト	人材育成 地域創生	アート事業企画案を募集し、賞金の交付や広報によって取組を支援する。	通年	各所	応募	15	15	6,000	3,434	企画・実施のポイントは、地域住民や関係者との連携が築けるかどうか。
16	自主	こども茶華道教室	教育 人材育成	小・中学生を対象に茶道・華道の基本を学ぶ機会を提供する。	7月～12月 (計6回)	青少年センター	参加	20	22	393	358	講師の工夫により、小中学生でも楽しく学べる内容を実施。
17	共催	とよたこども創造劇場	教育	表現力を培う演劇により青少年の健全育成を図るとともに、子どもによる演劇公演を開催する。	5月～11月 公演11月5日(日)	文化会館小ホール	参加	40	23	4,347	4,248	演出家が、参加者の個性を見極め、あて書きした演劇公演を実施。稽古を通じて自己肯定感を高め、演劇を楽しく体験できる。

No.	事業区分	事業名	重点施策	内容	期日	会場	人数(単位:人)			予算(単位:千円)		コメント
							目標	結果	予算	決算		
18	受託	豊田市少年少女合唱団運営	教育	定期演奏会、こどもコーラス・フェスティバルのほか、各種イベント出演などの活動を行う。	通年 定演12月24日(日)	定期演奏会: コンサートホール	団員	100	97	11,432	11,375	定期演奏会で、団員以外の出演者を募集し、次年度以降の団員獲得につなげられるよう工夫した。
19	受託	豊田市ジュニアマーチングバンド運営	教育	定期演奏会、マーチング愛知県大会のほか、各種イベント出演などの活動を行う。	通年 定演3月17日(日)	定期演奏会: 文化会館	団員	100	85	24,238	22,941	豊田市の姉妹都市英国ダービーシャーへ派遣され、交流と音楽に対する意識の向上。
20	共催	文化活動者派遣事業 (アウトリーチ事業)	教育	小中学校等へ出向き、文化活動者のワークショップを行い、児童・生徒が文化芸術に出会う機会を提供する。学校教育の総合学習に寄与する(市民文化会館と連携)。	6~12月	市内各小中学校	校数	32	44	1,600	1,124	募集を大幅に超える申込があり、次年度以降、講師や事務局の負担をどうするかが課題
21	共催	吹奏楽フェスティバル	普及・啓発	豊田加茂吹奏楽連盟による中学校と高校吹奏楽の演奏会を開催する(支援事業)。	11月5日(日)	文化会館大ホール	出演	15校	15校	200	199	コロナ前の大会内容に戻り、合同バンドなど世代を超えた交流の場となった。
22	共催	とよた囲碁まつり	普及・啓発	クラス別の囲碁対局やプロ棋士の指導碁を通じて市民の交流を図る機会を提供する。	2月11日(日)	文化会館	参加	64	100	787	581	コロナ後の申込数の見通しや、運営スタッフ不足を鑑み、少人数制で実施。
23	自主	農村舞台アートプロジェクト	地域創生	農村舞台を会場として、公募によるアート展を開催し、農村舞台の可能性を創造するとともに、地域の活性化を図る(市民文化会館と連携)。	9月12日(火)~ 23日(土)	5か所	応募	20組	45	1,876	1,589	全国から45組の申し込みがあり、関心の高さが伺える。次年度はライブ公演を実施。
24	自主	イルミネーションストーリー in とよた	地域創生	快適な都市空間を創出し、市街地の活性化を図る文化イベントへの支援を行う(支援事業)。	11~1月	豊田市街地				30	30	駅前の賑わい創出事業への参加。運営方法に疑問があるため、今年度で脱会。
25	自主	武山直樹豊田芸術選奨受賞記念展	鑑賞	豊田芸術選奨受賞者の芸術を広く鑑賞いただく作品展を開催する。	7月4日(火) ~9日(日)	美術館ギャラリー	来場	2,000	1,206	1,218	1,228	会場を美術館ギャラリーで実施したが、関係者をはじめ多くの方に来場いただいた。
26	自主	文化情報・広報PR事業	創造	ウェブサイト、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどにより、事業実施のPRや進捗・結果報告などの情報提供を行う。	通年		投稿数	SNS/月20 ×3種× 12月	443 (1月現在)	0	0	Facebook114、X224、Instagram105(1月現在)
27	自主	動画配信事業 「アートくんの文化ちゃんねる」	創造	You Tubeによる動画配信サービスにより市内の文化情報、文化活動者の情報を提供する。年間10本を予定。	通年		登録年間	300 10本	259 10本	1,244	1,211	若手職員の思考で、親しみある内容で実施している。次年度は、部活動の地域移行を見据え、団体紹介にシフトを考えている。
28	自主	文化情報誌「カレント」発行	創造	市内で開催されるあらゆる文化情報を網羅した情報誌を発行し、情報の提供を行う。	季刊		発行部数	5,000 ×4季	5,000 ×4季	3,306	3,000	「カレント」をリニューアルしての1年目。アンケートを実施し、高評価を得ている。
29	自主	西三文協連絡協議会 県文連総会	貸館	各団体が主導する美術展等の開催に豊田市民が参画できるよう情報収集と開催支援事務を行う。	4月20日(木) 5月23日(火)	碧南市 名古屋市				60	65	尾張地区では、脱会が進んでいる。本会の目的を見直す時期に来ている。
30	自主	市民文化活動助成事業	貸館	文化団体や市民の活動を様々な角度からサポートし、文化事業の活性化を推進する。	通年		応募件数	14件	6件	536	284	申し込み件数の減少から、PRや助成内容の見直しが検討課題。
31	自主	市民文化活動支援	貸館	市民の文化活動に対する後援事務、文化団体の公演へのPR補助などを行う。	通年							窓口での相談・申請業務など、市民の求めに応えられるよう努める。
32	自主	豊田文化団体協議会運営	貸館	市民が参画する協議会の運営事務や定期的な役員会、委員会を開催支援する。	通年							協議会役員・委員は、世代交代の課題に直面している。
33	自主	音楽練習場運営事業	貸館	音楽団体の育成と音楽練習場の運営を行う。	通年	音楽練習場	団体数	7	7	195	195	将来にわたって継続できるかが不確定

令和6年度 市民文化会館 事業計画

【事業ラインナップ】

No.	事業区分	事業名	重点施策	内容	今後の課題	期日	会場	予算案(千円)	目標参加人数他
1	自主	【地域記録事業】 とよた定点観測	地域創生	4月1日に定められた場所でのビデオ撮影や、年間を通して定められた場所で写真撮影を行い、豊田市の変遷を記録したる。	記録のアーカイブ化や具体的な活用方法を検討する必要がある。	4月1日他	豊田市駅他	100	—
2	自主	【一般向け事業】 宝塚歌劇団 雪組公演	鑑賞	宝塚歌劇団「雪組」による全国公演。 ※コロナ禍で持ち越しになっていた公演の実施。	舞台芸術を楽しむ機会を市民に対して公共が安価に提供し、市民自らが舞台芸術に触れる機会を創り、気軽に舞台芸術に親しむ顧客としてステップアップに連動できるとよい。また、豊田市及び近隣で演劇等の公演が頻繁に行われるような誘致にも注力する必要がある。	5月1日	大ホール	620	1,200
3	共催	新規【市民参加事業】 豊田市民アート展	普及・啓発	連盟・協会や財団会員のグループ・個人が一堂に会し、共に作品を展示する。 R5年度 文化事業課と共催。	財団大会の日程に合わせた開催日程を組むことで、関係者の集客を図りたい。	5月30日 ～6月9日	展示室A・B・C・D 多目的ホール	424	出展 60
4	自主	【子ども向け事業】 劇団四季ファミリーミュージカル	鑑賞	“仲間の大切さ”や“生命の尊さ”、“勇気を持つ心”など、作品に込められたメッセージを家族で楽しみ、学び、絆を深めるミュージカルを開催する。 市事業「こころの劇場」と連携開催し、こころの劇場に参加できなかった市民の鑑賞機会創出と単独開催と比べ、公演費のコストカットを実現。	小学生とその家族を主対象に、劇団四季のベストセラーミュージカルを安価に提供する。鑑賞者が、ホールやホール公演の愛好者へとステップアップしていけるとよい。また、豊田市及び近隣で演劇公演等の公演が頻繁に行われるような誘致にも注力する必要がある。	7月21日	大ホール	4,664	1,200
5	自主	新規【施設利用推進事業】 げきじょうたんけんツアー	普及・啓発	文化活動の拠点施設の「うらがわ」を子どもたちに体験してもらうミステリーツアー。会館の裏側を探検する機会を通して、舞台芸術の現場やそこに携わる仕事の数々を子ども達が知る機会とし、子ども達が自らの将来を考える上で選択の幅を広げるきっかけとした。 「舞台お困りごと相談窓口」から分離。	親子向け事業として実施するが、大人向けのツアーや学生・高校生のインターンシップや中学生の職場体験とのコラボも考えていきたい。	8月18日	小ホール	131	60
6	自主	【一般向け事業】 DRUM TAO	鑑賞	世界観客動員800万人超の実績を持つ日本屈指のアーティスト集団DRUM TAO。創設初期メンバーで、豊田市出身の奥野美津子氏がプロデューサーを務めるという所縁がある。 2022, 23と連続の公演実績を踏まえTAOサイドからTAOから2024年のオファーがあった。	豊田市出身でプロデューサーの奥野美津子氏から、豊田をホームグラウンドのひとつとしたい意向が届いており、館のかかわり方並びに採算性と継続性のバランスを考える必要がある。 TAO側から興行以外に何らかの社会貢献を引き出せば、豊田市の行う「ファミリーミュージカル」の手法が可能なか検討したい。	10月26日	大ホール	7,095	1,000
7	自主	【一般向け事業】 キウ・クラシックバレエ公演	鑑賞	チャイコフスキー作曲の3大バレエ作品「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「眠れる森の美女」の名場面の上演。ウクライナバレエ団の若手ダンサーの参加による全国公演。	市内には複数のバレエスクールが存在し、スクール毎の発表会公演が頻繁に開催されている。ただし、プロのダンサーによる公演を鑑賞する機会を得るために、名古屋市をはじめ市外に出向く必要がある。そんなニーズに応えられる公演の誘致ができるといい。	11月22日	大ホール	1	800
8	自主	【親子向け事業】 恐竜ラボ	鑑賞	子どもたちに人気の恐竜が現代に蘇る物語をロボット恐竜によりステージ上に再現。 家族で劇場に足を運ぶ機会の創出として欠かせない低年齢者対象の事業。 ※プロダクションの持込企画につき会場使用料のみの負担。	舞台公演に親しむ気軽な取組み等から、公演へ顧客としてステップアップしていく連動企画ができるとよい。シアタースタート企画などは実施例が少な目だが、他館の取組みを研究していきたい。	12月14日 ・15日	大ホール	216	1,200
9	自主	【演芸・芸能事業】 とよた寄席	鑑賞	東西の人気落語家による落語会。市内の落語愛好団体と共働で開催する。	当館主催では稀有な市民団体との連携がある公演を市民団体と今後も継続するのか、市民団体の手に委ねるのかタイミングの見極めが必要。	12月21日	小ホール	1,509	400
10	自主	【市民参加事業】 歳末チャリティ作品展	社会包摂	豊田市を拠点に活動するアーティストから提供されたアート作品の展示即売を実施し、その収益を社会福祉のための寄附に充当する。 豊田市文化団体協議会の協力を得て実施する。	チャリティの方法や寄付先を福祉にこだわらず寄付先を作家や購入者が選べるなど、社会包摂事業へ拡大していく等、文化芸術を活かした社会貢献への変化を検討したい。 (寄付先の例：社会福祉協議会、子どもアート体験プロジェクト、子ども食堂、UNHCR、Unicef等)	12月20日 ～22日	展示室A・B	746	出展 120
11	受託	【市民交流事業】 つながりリビング事業	地域創生	館内カフェのフリースペース「つながりリビング」を活用し、交流を創出するワークショップや展覧会、ミニコンサート他を開催。	ホールを借りての公演には未だハードルが高いと感じている方を支援することで、将来のホール利用者育成へのステップアップの機会としたい。(入場料を実演者にバックする仕組みの整理が必要。) 飲食目的の来場者にも楽しんでもらえるカフェ営業時間内の企画と、営業時間外に会場を占有する企画に色分けすることで、それぞれのニーズに応えられる運営方法の確立が必要。	通年	つながりリビング	607	3,600
12	自主	【鑑賞機会創出事業】 とよた☆あしながプロジェクト2024	社会包摂	企業・団体・個人の協力のもと、当館事業の公演チケットを市内の親子にプレゼントし、音楽や伝統芸能の鑑賞機会を提供し、家族のコミュニケーション機会の創出と様々な理由でアート体験の機会に恵まれない子どもたちへのプレゼントの二つの目的達成を目指す。 旧「とよた☆子どもアート体験支援プロジェクト」から名称変更。	市福祉総合相談課を通じ学習支援を受けている家庭へチラシ配布を行えるようになったが、もっと支援が必要な市民に届られないかを再チェックし、市福祉関連部署との連携をより深め、より多くの市民へリーチしていきたい。 現金以外の寄付(主催事業以外の観劇券等)を受ける仕組みを創り親子がアートに触れる機会が増やせたらと考える。また、支援をする側(寄付者)の拡大に努め、劇場を通じて行われる社会貢献の形・機会を広く市民に周知したい。 1口が個人・団体とも同じ額(10,000円)を見直し、個人の金額を下げた寄付者(協力者)の拡大に努めたい。	通年	—	222	—
13	自主	【施設利用推進事業】 舞台お困りごと相談窓口	貸館	文化会館の利用のハードルを下げ利用促進を目的に、舞台利用や発表会等の開催に関するお困りごと相談窓口を月1回に開設。	毎月機会があることを活かし、月毎にテーマを設け、現利用者を含むニーズのある人にアピールし、この機会を利用し易くする環境を整えたい。	通年	—	158	30
14	自主	【地域活動支援事業】 子ども食堂フードパントリー事業	社会包摂 地域創生	空きスペースの地下食糧庫を有効活用し、とよた子ども食堂ネットワークと連携して、市内全ての子ども食堂へ提供された食材の一時保存を支援する。	子ども食堂運営を支援することで連携を深め、市内子ども食堂の現状を把握し、真に必要な支援と劇場が出来ることを精査したい。 また、子ども食堂ネットワークに「とよた子どもアート支援プロジェクト」のPRの協力を求めたい。	通年	地下食糧庫	102	—

15	受託	【市民参加事業】 お手軽映像制作講座	利用促進	スマートフォンを使った簡単映像制作のワークショップを開催。制作映像のYouTube投稿や家族・仲間での楽しみの機会に繋げる。R5年度「スマホでアニメーションをつくろう！」	映像制作を身につけた後、どんな活用方法や楽しみ方があるのかを技術と同時に学び、普及啓発の成果が参加者にも分かる内容に作り変えていきたい。	未定	つながりリビング	21	20	
16	自主	【地域活性化事業】 農村舞台アートプロジェクト	地域創生	ライブ公演（文化事業課と連携）	文化事業課の課題に同じ			文化事業課 予算		
17	共催	【舞台芸術人材育成活用・創造事業】 とよた演劇ファクトリー	人材育成	子どもコース：戯曲ワークショップ1回 役者コース：表現力向上講義を中心に、舞台芸術全般を学ぶ（年50回） 演出コース：演出力向上講義（年50回） 演出聴講コース：演出家の視点をもち演技できる役者の養成 シニアコース：フィールドワークショップ1回 （文化事業課と連携）						
18	共催	【学校アウトリーチ事業】 文化活動者派遣事業	教育	三味線、和太鼓、日本舞踊、演劇、ダンス、図工、俳句、音楽など（文化事業課と連携）						

【R6事業費見込】 財団自己財源：909千円（5.5%）、市予算：1,052千円（6.3%）、その他（寄附金等）：332千円（2%）、参加費・入場料収入：14,286千円（86.2%）

令和6年度 文化事業課 事業計画

【事業ラインナップ】 ※共催は豊田市との共催事業 自主は財団自主事業（自己財源事業） 【重点施策・日付順】

R6.4.1

No.		事業名	重点施策	内容	今後（主に6年度）に向けた課題・取組み	期日（予定）	会場	予算（千円）	目標参加人数他（人）
1	共催	小倉百人一首かるた第63回全日本選手権大会・かるたフェス	普及・啓発	名人戦・選抜大会と並ぶ全国三大競技かるた大会を、全日本かるた協会と共催で開催する。	かるたフェスにおいて、豊田かるた会の負担が大きいため、運営方法の見直し	4月28日（日）	名鉄トヨタホテル 参会館	1,000	200
2	共催	とよた将棋フェスタ	普及・啓発	子どもによる将棋対局や指導将棋など親子ふれあいの機会提供と将棋の普及を図る機会を提供する。	参加者における豊田市民の参加者数減少について、周知方法の見直し	6月22日（土）	文化会館	1,296	120
3	自主	（新規） 西三河美術展	普及・啓発	西三河地区の文化協会と合同で美術展を開催し、他市町の愛好者との交流と活動の活性化を図る。6年度は碧南市開催（隔年）		9月18日（水） ～23日（月祝）	碧南市	48	出展20
4	自主	（新規） 県文連芸能大会	普及・啓発	西三河地区の文化協会と合同で舞台芸能祭を開催し、他市町の愛好者との交流と活動の活性化を図る。6年度は岡崎市開催。	開催内容や客層に合わせた、出演団体の選定	10月6日（日）	岡崎市	70	出演1団体
5	自主	（新規）毎日書道展第75回記念 毎日現代書巡回展 豊田展	普及・啓発	全国巡回の毎日書道会の作品と東海地区を中心とした各会派の作品を集めた現代書の巡回展（6年度のみ開催予定）		10月23日（水） ～27日（日）	文化会館 美術館	0	1,800人
6	自主	県文連美術展	普及・啓発	県内の文化協会と合同で美術展を開催し、市内における新人の発掘と愛好者の活動の活性化を図る（文化団体出品協力事業）。		11月19日（火） ～24日（日）	名古屋市	6	出展10
7	共催	秋季市民茶会	普及・啓発	お点前のレクチャーを行うなど市民が気軽に茶の湯に親しむ茶会を開催する。	「気軽なお茶会」をコンセプトに、市内外国籍の方も参加できる仕組みやPRの検討	11月24日（日） 予定	美術館	656	来場者300
8	共催	第45回とよた囲碁まつり	普及・啓発	クラス別の囲碁対局やプロ棋士の指導碁を通じて市民の交流を図る機会を提供する。	実行委員の高齢化による大会運営の見直しとコロナ後の参加者増の受け入れ態勢の検討	2月16日（日）	文化会館	787	参加者120
9	自主	とよた演劇祭	普及・啓発 人材育成	演劇アカデミー及び演劇ファクトリー修了生を中心に市民が運営する演劇祭を開催する（支援事業）。		12月予定	市内	200	来場者200
10	共催	おいでんアート体験フェア	普及・啓発 人材育成	文化芸術を気軽に体験することで、子どもたちの育成と文化の担い手づくり、生涯活躍できる新たな文化活動のきっかけ作り事業。	会場が文化会館で定着しつつあるが、以前はスカイホール豊田で実施していたため、どちらが適しているのか検討	2月23日（日）	文化会館全館	3,927	体験参加者1,700
11	共催	とよた市民アートプロジェクト	普及・啓発 人材育成 地域創生	アートイベントを市民主導で作り上げることをきっかけにして、市民が積極的かつ継続的に文化芸術活動に関わることで、文化を創造し楽しむ風土を作るとともに、文化芸術を通じてまちづくりに参加する仕組みづくりと企画する側の人材育成を図る。	継続参加を生み出すプログラム作りと、その参加者を企画側へつなげる仕組みの検討	通年	市内各所	5,504	登録者20
12	自主	令和6年度豊田市文化振興財団大会	人材育成 創造	財団の基本方針を内外に示すとともに、文化振興や青少年健全育成、地域振興に業績を挙げた功労者を表彰する。	表彰の周知方法を見直し、被表彰推薦者数の増加につなげる	6月2日（日）	文化会館大ホール	2,414	来場者400
13	共催	とよたデカスプロジェクト	人材育成 地域創生	アート事業企画案を募集し、賞金の交付や広報によって取組を支援する。	事業採択者の支援方法、非採択者のフォロー	通年	各所	6,000	応募15組
14	共催	舞台芸術人材育成活用・創造事業 とよた演劇ファクトリー	人材育成	「演出コース」・「役者コース」など演劇人の養成及び演出、人材を育成する講座と公演を開催する（市民文化会館と連携）。	社会とのつながりを意識したカリキュラムの見直しや修了生の活躍の場を検討する	5月～2月 公演2月9日（日）	文化会館 小ホール他	6,020	参加者25
15	共催	とよたこども創造劇場	教育	表現力を培う演劇により青少年の健全育成を図るとともに、子どもによる演劇公演を開催する。	参加者の募集方法、運営に携わるスタッフの育成	5月～11月 公演11月10日（日）	文化会館小ホール	4,603	参加者40
16	共催	豊田市少年少女合唱団運営	教育	定期演奏会、こどもコーラス・フェスティバルのほか、各種イベント出演などの活動を行う。	団員減少と部活動地域移行に伴う受け皿としての児童生徒（学校）への広報・周知	通年 定演2月9日（日）	定期演奏会： コンサートホール	9,902	団員数100
17	共催	豊田市ジュニアマーチングバンド運営	教育	定期演奏会、マーチング愛知県大会のほか、各種イベント出演などの活動を行う。	団員減少と部活動地域移行に伴う受け皿としての児童生徒（学校）への広報・周知	通年 定演3月16日（日）	定期演奏会： 文化会館	25,424	団員数80
18	共催	文化活動者派遣事業(アウトリーチ事業)	教育	小中学校等へ出向き、文化活動者のワークショップを行い、児童・生徒が文化芸術に出会う機会を提供する。学校教育の総合学習に寄与する（市民文化会館と連携）。	講師負担の軽減策検討および体験メニューの開発、申込校増への対応	7～12月	市内各小中学校	1,728	延べ32校
19	共催	吹奏楽フェスティバル2024	教育	豊田加茂吹奏楽連盟による中学校と高校吹奏楽の演奏会を開催する（支援事業）。	演奏会だけに留まらず、ワークショップなど体験を通じた魅力発信についての提案	11月3日（日）	文化会館大ホール	200	15校
20	自主	農村舞台アートプロジェクト2024	地域創生	農村舞台を会場として、ライブ公演を開催し、農村舞台の可能性を創造するとともに、地域の活性化を図る（市民文化会館と連携）。	開催内容や市民アートプロジェクト事業との関係性など方向性の検討	9月	市内農村舞台	2,511	参加者200
21	自主	イルミネーションストーリー2024 inとよた	地域創生	快適な都市空間を創出し、市街地の活性化を図る文化イベントへの支援を行う（支援事業）。		11月～1月	豊田市街地	0	—
22	自主	杉山タカ子豊田芸術選奨受賞記念展	鑑賞	豊田芸術選奨受賞者の芸術を広く鑑賞いただく作品展を開催する。	財団表彰制度への理解を含む来場者の増加	5月29日（水） ～6月2日（日）	文化会館	889	来場者2,000
23	自主	文化情報・広報PR事業	創造	ウェブサイト、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどにより、事業実施のPRや進捗・結果報告などの情報提供を行う。	発信する内容やタイミングなど、より効果的な発信方法 英語表記により、外国人向けの発信	通年		0	—
24	自主	動画配信事業「アートくんの文化ちゃんねる」	創造	You Tubeによる動画配信サービスにより市内の文化情報、文化活動者の情報を提供する。年間12本。	部活動の地域移行に向け、会員紹介に軸足を置いた発信内容の検討	通年		1,244	年間12本

25	自主	文化情報誌「カレント」発行	創造	市内で開催される文化情報を網羅した情報誌を発行し、情報提供を行う	豊田の文化について、外国人目線での記事を入れることで、新たな顧客の創出に挑戦	季刊		3,299	4季各5,000部
26	自主	西三文協連絡協議会 県文連総会	貸館	各団体が主導する美術展等の開催に豊田市民が参画できるよう情報収集と開催支援事務を行う。		4月 5月	知立市 名古屋市	65	—
27	自主	市民文化活動助成事業	貸館	文化団体や市民の活動を様々な角度からサポートし、文化事業の活性化を推進する。	事業実施者のニーズに応じた助成のあり方	通年		536	応募14団体
28	自主	市民文化活動支援	貸館	市民の文化活動に対する後援事務、文化団体の公演へのPR補助などを行う。		通年		0	—
29	自主	豊田文化団体協議会運営	貸館	市民が参画する協議会の運営事務や定期的な役員会、委員会を開催支援する。		通年		0	—
30	自主	音楽練習場運営	貸館	音楽団体の育成と音楽練習場の運営を行う。		通年		198	特定6団体

合計	78,527
(共催事業)	67,047
(自主事業)	11,480